

## 豊明市地域包括ケア連絡協議会 入退院調整会 議事録

日時 平成27年12月17日(木) 14時～  
場所 豊明市役所 本館3階 会議室1

〔出席委員〕 5名（1名欠席）      〔オブザーバー〕 4名      〔傍聴〕 なし

### 議 事

- 1 退院調整地域連携実証事業の進捗について（資料1、2）
- 2 入退院連携における地域課題と今後の取組みについて（資料1）

（意見交換 等）

○ケース検証から

- ・多職種によるそれぞれの視点でのケース検証が行われることにより、病院等治療の場から生活の場に移行する際の課題が見えてきた。特に、入退院を繰り返す事例はハイリスクケースでもあり、医療情報はもちろん生活に視点を移したりハビリ等の視点がとても重要である。また、生活の視点となると家族の状況や介護力、地域資源とのつながりも含めた情報共有が必要である。

○退院支援地域連携実証事業から見えてきたもの

- ・豊明市民が保大 HP 退院後に行くことの多い市外医療機関との連携強化がより必要。退院カンファ等も積極的に行われているところだが、市外医療機関から在宅に戻る時の介護福祉サービスはもちろん地域資源とのつながりをいかにすすめるかも課題。
- ・在宅生活に戻った後も、入院中のケアを自宅での生活・療養に活かすために  
— 歯科医師や歯科衛生士・薬剤師・栄養士・リハ職種とどう連携するかが今後課題。  
— 例えば、外泊の際にケアマネ等が生活の場に立ち会えると、生活上で必要なことが見えてくる。入院中から情報共有できているとその後のサービス等にも活かせる。  
— かかりつけ医が早い段階で分かることも大切。
- ・高齢者が介護となる原因疾患(骨折、肺炎、脳血管疾患 等)がある程度見えてきた。関連の深い病棟との課題共有などすすめていけると良い。

○今後のすすめ方

- ・末期がんを除く、慢性疾患のケースについて今後も経過を追う。
- ・介護認定後、介護サービスにつながっていないケースの動向も追っていく。